

平成 30 年度 第 4 回

おおさか環境ネットワーク会議議事録

日 時：平成 30 年 11 月 8 日（木）18：30～20：10

場 所：大阪市環境局第 2 会議室 あべのルシアス 12 階

出席者：NPO 法人 リアルにブルーアースおおさか 武田氏

NPO 法人 木育フォーラム 米地氏

大阪府シェアリングネイチャー協会 福島氏

なにわエコクラブ 山元氏

NPO 法人環境情報ステーション pico、グリーンコンシューマー 大林氏

NPO 法人環境カウンセラー協会 田中氏

なにわエコ会議、NPO 法人イー・ビーイング 井上

ファシリテーター：World Seed 岡見氏

事務局：井上

環境局 片岡

プログラム

1. ECO 緑日の振り返り等

<意見交換>

ECO 緑日当日の様子と近況報告を兼ねて各団体より

カウンセラー協会

- ・ ECO 緑日だけでなく、4 日の環境ふれあいひろば出展、大阪府の募集に応じたイオンでのイベント出展もしている。
- ・ ECO 緑日では、各ブースに SDG s のロゴが記載されていたりして、今後 SDG s をテーマに活動することは必須になっていると感じた

木育フォーラム

- ・ ECO 緑日は天気に恵まれてよかった。
- ・ このシーズンはイベントがいっぱいある。依頼があると全て引き受けているが、今後は整理も必要かもしれない。
- ・ 9 月の台風で倉庫の屋根が破損したがなかなか見積もりにも来てもらえなくて困っている

なにわエコクラブ

- ・ ECO 緑日は参加者が多く、ステージのプログラムも盛りだくさんで楽しかった
- ・ 環境ふれあいひろばにも出展した
- ・ 今後の予定としては、1 月に茨木のイオンで山田君のイベントのようなものをする事になっている

シェアリングネイチャー協会

- ・ECO 緑日はお疲れさまでした。これまでとブースの場所が違ってとまどったが、多くの参加者があってよかった。
- ・ネイチャーゲームの講師の依頼を受けている。箕面山麓保全委員会から 1 年間にわたってイベント開催があるので、協力することになった

World Seed

- ・ECO 緑日に続いて 11 月 4 日は柏原で環境イベントがあった
グリーンコンシューマー
- ・10 月初めに豊島に見学に行った。ごみの処理場を遠目に見て、いまだに地下水が汚れている現状などを知った。

Pico

- ・ECO 緑日にはおおさか環境ネットワークブースの運営で参加した。
- ・エネ育として、ケイゾクエナジーさんと一緒に三原の原発の見学に行く予定
- ・団体内には何でも隅にする名人もいる

おおさか環境ネットワークの出展ブースについて

- ・さまざまな団体から交代で運営にきていただいてありがたかった
- ・なにわ ECO スクエアの玄関前での展示だった
- ・多くの方が各団体の紹介ポスターなどを見てくださった
- ・クイズには約 100 名参加があった
- ・クイズコーナーの掲示がなかったので急遽作成した
- ・ポスターの上か下に団体名も掲示しておくほうがよい。そうでないとクイズに参加する人が団体のポスターを見つけにくい。
- ・クイズにはルビを振っておくほうがよい
- ・子ども用と大人用のクイズを作ってはどうか
- ・クイズの回答のための筆記用具の用意が必要
- ・ネットワーク参加団体のパンフレットを置くことになっていたと思うが、当日は集まらなかった

2. プログラム集について

○デザインの共有

<意見>

- ・SDGs の該当ロゴを記載してはどうか
→はい。原稿フォームに SDGs を選ぶ欄を作る

○掲載団体について

- ・プログラム集をきっかけに、ネットワーク参加団体増を目指す。~~めざす~~。
どんな団体が候補になっているかなどを ML で共有する

○原稿の集め方について

- ・欠席団体も含め、原稿フォーム等資料一式をデータで送る
- ・年内に各団体からの原稿を提出
- ・記載のコツとしては、伝えたいことをできるだけ箇条書きでかくこと。その方が読む人にとってわかりやすいので。

3. 2月イベントについて

○開催日程・会場の確認

○開催方法の確認

資料を基に事務局より説明

開催目的

- ①多くの人に来ていただき、環境活動の啓発をすること
- ②参加団体同士の交流・協働の推進
- ③プログラム集の体験会として、いろいろなワークショップの体験や説明を提供する

対象

一般市民

行政や地域団体（区役所、町会、女性会、大阪府などに告知する）

※来ていただいた団体にプログラム集の完成版を渡し、来年度以降の講座依頼につながる

<意見交換>

- ・昨年度（2018年2月12日）が第1回であったので、第2回の今年度は基本的に昨年と同じような内容で開催する
- ・時期は2月23日土曜または24日日曜
- ・水電気は使えないので、その範囲で考える
- ・イベント事態に特色が欲しい→プログラム集の体験会とする
- ・プログラム集に掲載できるのは、ネットワーク参加団体なので、プログラム集をきっかけに新たに参加団体が増える。今後出前講座等のプログラムの充実につながる

→

- ①ネットワーク内の団体にイベント参加の意思を確認
- ②新たな参加団体への声かけ
- ③グループ分け再編し、グループごとにミーティングしていただく
- ④その後、ネットワークの企画を固め、会場レイアウトやステージの使用方法を検討する
- ⑤昨年度のように、エコボランティアやこどもエコクラブにも参加の声かけをする